

リリース ノート

これらのリリース ノートでは、SmartStart CDの内容に関する特別な情報と分かっている問題およびそれらの潜在的な回避方法について説明します。最新情報およびアップデートされたリリース ノートに関しては、SmartStart Webサイト

<http://www.hp.com/jp/servers/smartstart>を参照してください。

SmartStart

- サポートされるすべてのオペレーティング システムは、SmartStart プロセス中の OS 選択画面に表示されます。

すべてのサーバにおいてサポートされるすべてのオペレーティング システムは、RBSU での選択に関わらず SmartStart 自動インストール中の OS 選択画面に表示されます。オペレーティング システムが表示されていても選択できない場合は、サーバ、またはサーバのプライマリ コントローラでサポートされていません。FAQ にサーバおよびプライマリ コントローラでサポートされないオペレーティング システムが表示されます。

- 既知の重要な SmartStart 製品の問題のための Web ページ

既知の重要な製品の問題（特定のSmartStartのバージョンに関連する）およびその解決方法が記載されています。SmartStart Webページ

<http://www.hp.com/jp/servers/smartstart>にアクセスし、製品サポートに関する情報を参照してください。

このドキュメントに記載されている解決方法を適用し、問題を解決することをおすすめします。誤った操作を行うと、ProLiant サーバの操作と機能が正常に動作しなくなることがあります。新しい問題が発見され、解決された場合、このリストは事前にアップデートされます。

- 外部ストレージと SmartStart を使うと、ドライバのロードに時間がかかる。

説明

このエラーは、Ultra2 SCSI インタフェースで Ultra3 SCSI ホスト バス アダプタ（64bit/66MHz デュアル チャネル Wide Ultra3 SCSI アダプタなど）に接続されている HP StorageWorks エンクロージャ（4300 ファミリ）に Ultra3 SCSI ディスク ドライブがインストールされている場合に発生します。

このエラーが起きるのは、ドライブと HBA が Ultra3 でネゴシエートしようとしているのに、HP StorageWorks エンクロージャが Ultra3 トラフィックとの互換性がないためです。

このエラーは、SmartStart を起動して、ドライバのロードのために約 5 分間休止したときに起きます。通常、SmartStart の起動後にインストールが失敗します。

対処方法

HP StorageWorks エンクロージャ（4300 ファミリ）の IO モジュールを Ultra3 にアップグレードしてください。

Ultra2 SCSI コントローラの HP StorageWorks エンクロージャ（4300 ファミリ）では、Ultra2 のディスク ドライブだけを使用してください。

注

Ultra2 のディスク ドライブは、Ultra3 SCSI コントローラの HP StorageWorks エンクロージャ（4300 ファミリ）では、正しく動作します。

- サポートされていないサーバでの SmartStart 7.x の起動

説明

SmartStart 7.x をサポートされていないサーバで起動した場合の動作は、サーバの機種によって異なります。以下のような現象が発生します。

- 起動後に"#"プロンプトが表示されます。
- SmartStart の実行中にシステムがフリーズする場合があります。
- SmartStart プログラムから、[メンテナンス]タブを選択するように指示されます。
- 古いモニタを使用している場合、画面に何も表示されません。
- メッセージ「SmartStart 6.00 and later do not support this system. Please reboot with SmartStart 5.50 or earlier.」が表示されます。

対処方法

SmartStart 7.x でサポートされていない古いサーバの場合は、SmartStart 5.50 を使用してください。SmartStart 7.x でサポートされるサーバのリストは、<http://www.hp.com/servers/smartstart/supportmatrices>（英語）から入手可能です。

- 翻訳

一部のストリングが未翻訳のため英語で表示されます。

- フランス語キーボードを使用している場合に Adaptec アレイ コンフィギュレーションユーティリティを起動するには、起動中に[CTRL]+[Q]ではなく[CTRL]+[A]を押す必要がある。

説明

SmartStart アプリケーションと SmartStart インストール ポスターには、アレイ コントローラを設定するための ROM ベース ユーティリティを起動するに

は、起動中に[F8]または[CTRL]+[A]を押すように記載されています。この指示は、英語版キーボードを使用することを前提としています。フランス語キーボードの[A]キーは、英語キーボードの[A]キーではないため、フランス語キーボードで[CTRL]+[A]を押しても Adaptec アレイ コンフィギュレーション ユーティリティを起動することができません。

対処方法

[A]と[Q]キーを逆にします。[CTRL]+[Q]を押すと、Adaptec アレイ コンフィギュレーション ユーティリティを起動します。

HP Insight Diagnostics

HP Insight Diagnostics メンテナンス ユーティリティは、サーバのハードウェアの設定に関する情報を表示し、サーバが正常に動作していることを確認するためにシステムおよびコンポーネントをテストします。

1. HP Insight Diagnostics の概要

HP Insight Diagnostics には、HP Insight Diagnostics オフライン版と HP Insight Diagnostics オンライン版の 2 種類があります。

HP Insight Diagnostics オフライン版は、オペレーティング システムが稼動していない間に、システムとコンポーネントのさまざまな詳細テストを実行します。Insight Diagnostics のオフライン版にアクセスするには、SmartStart CD を起動して、[サーバ メンテナンス]ボタンを押して、[サーバの診断]ボタンを押します。

HP Insight Diagnostics オフライン版は、カスタム/対話型 テスト スイートから ROM ベース メモリ テストが利用できるようになりました。このメモリ テストは、Fully Buffered DIMM をサポートしているシステムで利用可能で、メモリ モジュールに関する多くの総合的なテストを提供します。ROM ベース メモリ テストは、他のテストとは別に実行する必要があり、テスト中に再起動する必要があります。詳しくは、『HP Insight Diagnostics Users Guide』（英語）を参照してください。

HP Insight Diagnostics オンライン版は、Web ベースのアプリケーションであり、最近の能力の問われる環境での効率的なサーバ管理を実現するために必要な、詳細なハードウェアおよびソフトウェア システム コンフィギュレーション情報と他の関連データを取得します。さらに、システムのために完全で徹底的な監査のプロセスを形成するために、これらのコンフィギュレーションを比較する機能があります。このバージョンを使用すると Insight Diagnostics を使用するために、サーバをオフラインにしたりサーバを再起動する必要がなくなります。オンライン版は、Windows または Linux PSP によって自動でインストールされます。また、www.hp.com の「ソフトウェアおよびドライバ」ページからダウンロードして、PSP とは別に単独でインストールすることもできます。オンライン版は、System Management Homepage から利用可能です。

HP Insight Diagnostics オンライン版には、新しい診断機能が追加されました。この機能は、デバイス動作履歴の非干渉システム レベル チェックを使用して、デバイスを診断する機能を提供します。Insight Diagnostics バージョン 7.4.0 より、Insight Diagnostics オンライン版は、Smart アレイ SCSI ハードディスク ドライブを診断する機能を提供します。診断は、Smart ア

レイ コントローラに接続されて論理ドライブの一部として構成された、SCSI、SATA (Serial Advanced Technology Attachment) 、および SAS (serial attached SCSI) ディスクドライブをサポートします。診断は、コンポーネントのテストではありませんが、99.9%の精度でハードディスクドライブを徹底的に診断する、ハードディスクドライブ動作履歴と専用の Smart アレイ コントローラ統計を使用するアルゴリズムの組み合わせです。診断は、ハードウェアの状態の診断を手助けし、既存のオフラインのテストよりもはるかに高速です。診断機能を使用すると、ダウンタイムを減少することができ、1クリックでハードディスクドライブの完全なトラブルシューティング情報を提供することができます。

Smart アレイ ドライブ診断機能は、以下の場合に使用してください。

- ハードディスクドライブが特定の状態になった理由の調査
- Systems Insight Manager がディスクドライブに事前障害またはドライブに障害があると報告した場合
- 物理的な表示がないのに、データの破損またはストレージに問題があった場合
- 競合エラーが存在する場合
- エラーが繰り返し発生する場合

2. HP Insight Diagnostics ユーティリティの問題

HP Insight Diagnostics ユーティリティの問題では、HP Insight Diagnostics ユーティリティの既知の問題について説明します。これらの問題は、HP Insight Diagnostics ユーティリティの将来のリリースで修正される予定です。

- Insight Diagnostics を英語以外の言語で実行すると、特定のメッセージが英語のまま表示されることがあります。

説明

フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、または日本語で実行中、メッセージの一部は英語のまま表示されます。

対処方法

対処方法はありません。修正は、将来のバージョンの HP Insight Diagnostics ユーティリティに追加されます。

- Survey は、特定の SATA ドライブの回転数を間違って表示します。

説明

SATA を搭載するシステムでは、サーバは間違った回転数を報告することがあります。

対処方法

対処方法はありません。修正は、将来のバージョンの HP Insight Diagnostics ユーティリティに追加されます。

- オンライン版が高性能マウスを有効にした iLO リモート コンソール経由で起動していると、アプリケーション エラーが表示されることがある。

説明

高性能マウスを有効にした iLO リモート コンソール経由で HP Insight Diagnostics オンライン版を起動している場合、アプリケーション エラーが表示されることがあります。

対処方法

iLO リモート コンソール経由で起動する場合は、高性能マウスを無効にしてください。修正は、将来のバージョンの HP Insight Diagnostics ユーティリティに追加されます。

- HP Insight Diagnostics オンライン版またはオフライン版のページに、移動のために使用するいくつかのボタンまたはスクロールバーが表示されないことがある。

説明

HP Insight Diagnostics オンライン版を特定のブラウザ設定（多くの場合 Linux オペレーティング システム）で使用しているとページ上に特定のボタンが表示されないことがあります。ページの下に移動するためのスクロール バーが表示されないページもあります。

対処方法

[PageUp]キーおよび[PageDown]キーを使用してページを上下に移動させて、ボタンにアクセスしてください。ブラウザ メニューを非表示にするとこれらのアイテムを表示することができます。

- 物理ドライブの番号が HP Insight Diagnostics と HP アレイ コンフィギュレーション ユーティリティと違って表示される。

説明

物理ドライブの SCSI ID が HP Insight Diagnostics は、HP アレイ コンフィギュレーション ユーティリティと比較して異なります。SCSI ID 情報を報告または表示する HP ユーティリティおよびディスク バックプレーンは、順序の決め方の基準が 0 と 1 で統一されていません。そのため、サービスまたはコンフィギュレーションで問題のあるドライブを特定することが困難になっています。

対処方法

障害 LED を黄色に点滅させるための Insight Diagnostic の新しい Smart アレイ ドライブ診断ドライブ識別ボタンを使用して、ディスク ドライブを特定してください。SATA および SAS ドライバでは、ドライブ識別コマンドでドライブの前面の青 LED を点灯します。

3. HP Insight Diagnostics ユーティリティの制限事項

HP Insight Diagnostics ユーティリティの制限事項では、HP Insight Diagnostics ユーティリティの実行環境および現在のバージョンには追加されていない機能が原因で発生する機能上の制限事項について説明します。

- Survey 情報の制限事項。

説明

Survey は、特定のデバイス情報を正しく検出しないか、またはいくつかのデバイス情報を完全に表示できません。データ キャプチャは、HP Insight Diagnostics で利用可能なドライバに基づいています。

- Smart アレイ コントローラではない RAID コントローラ上でハードディスクドライブ情報またはテストが利用できないまたは制限される

説明

Smart アレイ コントローラを搭載していない RAID 構成では、テストで利用できる物理および論理ドライブ情報に制限があります。コンフィギュレーションと RAID コントローラによって、Insight Diagnostics は、RAID コントローラの物理および論理ドライブを表示できないことがあります。

対処方法

対処方法はありません

- HP マネジメント エージェントがインストールまたは実行されていない環境では、ファン、温度、またはパワー サプライの情報は利用できません。

説明

Diagnostics は、ファンや、温度センサ、およびパワー サプライなどのヘルス関連のデバイスのための HP マネジメント エージェントに依存しています。マネジメント エージェントが稼動していない場合、HP Insight Diagnostics はこれらのデバイスを無視し、これらが存在していないと表示します。

対処方法

最新の HP マネジメント エージェントが稼動していることを確認して、HP Insight Diagnostics を Linux パーティションにインストールしてください。

- RILOE II の Survey データが制限される。

説明

RILOE II から参照できる Survey データは、制限されます。

- システム メモリが 512MB 以下のサーバでは、キーボード、マウス、またはグラフィックスの診断をサポートしない。

説明

システム メモリが 512MB 以下のシステムでは使用可能なメモリの容量が限られているため、キーボード、マウス、およびグラフィックス テストは、無効にされています。

- ファイバ チャネル テストはサポートされません。

説明

ファイバ チャネル PCI カードは認識しますが、現在のバージョンでは、テストおよび接続されたストレージ デバイスを認識することはできません。

- HP Insight Diagnostics は、特定のデバイスのテストをサポートしません。

説明

ネットワーク インタフェース コントローラおよび CD-ROM ドライブはテストできません。

- Smart アレイ コントローラ以外の論理ボリュームの一部として構成された物理ドライブが診断できない

説明

HP Insight Diagnostics の診断機能は、HP Smart アレイ コントローラの論理ボリュームの一部として構成された物理ドライブのみサポートします。

4. HP Insight Diagnostics の注意

Insight Diagnostics ユーティリティの注意事項では、Insight Diagnostics ユーティリティを使いやすくするために知っておくべき項目について説明します。これらの項目を問題と考える必要はありません。

- RPM は、すべての診断ファイルをアンインストールしません。

説明

HP Insight Diagnostics のアンインストールでは、診断時に生成されたファイルは削除しません。

対処方法

HP Insight Diagnostics の実行時にいくつかのファイルが生成されます。/opt/hp/hpdiags ディレクトリを手動で、コマンド "rm -rf /opt/hp/hpdiags" を使って削除してください。Survey キャプチャのデフォルトでは、XML ファイルは削除されません。

- デバイスで間違った PCI スロット番号が報告されます。

説明

間違った PCI スロット番号が、SIMBIOS から返され、HP Insight Diagnostics 上に報告されます。

対処方法

最新のシステム ROM にアップデートし、HP Insight Diagnostics ユーティリティを再度実行します。

- 一部のコントローラでは、アレイ コントローラのメモリ サイズが間違っ報告されます。

説明

アレイ コントローラのメモリ容量については、Diagnostics ユーティリティの概要セクションで実際より少なく報告される場合がよくあります。この問題は、64MB 以下のメモリを搭載するコントローラで顕著です。この問題は、アレイ コントローラのファームウェアが物理メモリ サイズを HP Insight Diagnostics に誤って報告することにより発生します。

対処方法

コントローラの実際のメモリ サイズは、電源投入時セルフテスト (POST) の実行中に報告されます。アレイ コントローラのファームウェアをアップグレードすると、この問題が解決される場合があります。

- オペレーティング システムから報告された USB ルート ハブ情報が異なる。

説明

ルート ハブ情報は、オペレーティング システム情報と異なる内容を表示します。

対処方法

USB 情報が、オペレーティング システムにより間違っ表示される。
修正は、将来のバージョンの HP Insight Diagnostics ユーティリティ
に追加されます。

Microsoft® Windows Server™ 2003

ProLiant Support Pack (PSP) for Microsoft Windows Server 2003 は、
SmartStart CD 上の `\compaq\csp\nt\` ディレクトリをブラウズし、`setup.exe` を
ダブルクリックしてインストールすることができます。HP Smart Update Manager
が起動され、適切な ProLiant Support Pack を選択することができます。

**1. Microsoft Windows Server 2003 上に HP ProLiant Smart アレイ
SAS/SATA コントローラ ドライバ (HPCISS2.SYS) バージョン 6.6.0 (以降)
および HP Insight マネジメント エージェントをインストールして実行している HP
ProLiant サーバに、HP ProLiant Support Pack (PSP) 7.80 を適用するとブル
ースクリーンになることがあります。この問題について詳しくは、以下のカスタマ
アドバイザリを参照してください。HPCISS2.SYS ドライバは、(PSP) 7.90 で修正
されました。**

- <http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?objectID=c01102958>
- <http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?objectID=c01102961>

**2. Microsoft Windows Server 2003 上にネットワーク コンフィギュレーション
ユーティリティ for Windows Server 2003 (CPQTEAM.SYS) バージョン
8.6 をインストールして実行している HP ProLiant サーバに、HP ProLiant
Support Pack (PSP) 7.80 を適用するとブルースクリーンになることがあります。
CPQTEAM.SYS ドライバは、(PSP) 7.90 で修正されました。**

**3. Windows Server 2003 ベース メディアを使用して Windows Server
2003 をインストールした後、HP ProLiant アレイ コンフィギュレーション ユーテ
ィリティ for Windows (ACU) と HP ProLiant アレイ診断ユーティリティ for
Windows (ADU) が HP Smart アレイ SAS/SATA コントローラのスロット情報
を「不明」と表示します。さらに、Insight マネジメント エージェントがシステムに
搭載されている HP Smart アレイ SAS/SATA コントローラの情報を提供しません。**

説明

Microsoft Windows Server 2003 ベース メディアに含まれているバージョン
の `Storport.sys` ドライバは、HP Smart アレイ SAS/SATA コントローラ ドラ
イバ (`Hpcisss2.sys`) に間違っデータを返します。この結果、ACU および
ADU にスロット情報が正しく表示されず、ストレージ エージェントがサーバに
搭載されている HP Smart アレイ SAS/SATA コントローラの情報を報告しな
くなります。

対処方法

対処方法には次のものがあります。

- <http://support.microsoft.com/kb/883646>からMicrosoft hot fix 883646 を適用してください。
- Windows 2003 SP1 にアップグレードします

4. Microsoft Windows 2003 Select 版オペレーティング システムの選択

SmartStart 自動インストールでは Microsoft Windows 2000 の場合と違って、Microsoft Windows 2003 Select 版のための選択はありません。Select および Retail ライセンスの両方にリストされている Windows 2003 製品を選択してください。Microsoft Windows 2000 Select 版では、セットアップがライセンス キー入力を問い合わせしないための変更がされていましたが、セミランダムな製品キーがチャネル情報と共に生成されるようになりました。Microsoft Windows 2003 Select 版は、各契約後取得される、ボリューム ライセンス キー入力の問い合わせがあります。

Microsoft Windows Server 2003 x64 Editions

ProLiant Support Pack for Microsoft Windows Server 2003 x64 Editions は、SmartStart CD 上の `\compaq\csp\nt\` ディレクトリをブラウズし、`setup.exe` をダブルクリックしてインストールすることができます。HP Smart Update Manager が起動され、適切な ProLiant Support Pack を選択することができます。

Microsoft® Windows 2000

ProLiant Support Pack for Microsoft Windows 2000 は、SmartStart CD 上の `\compaq\csp\archive\w2k\` ディレクトリをブラウズし、`setup.exe` をダブルクリックしてインストールすることができます。HP リモート展開ユーティリティが起動され、適切な ProLiant Support Pack を選択することができます。

SmartStart は、Microsoft Windows 2000 Server オペレーティング システムのインストール時に Microsoft IIS を自動的にインストールしません。

Red Hat Enterprise Linux 4 Update 5

RHEL4 U5 を実行しているサーバで System Management Homepage をロードするとタイムアウトが発生します。

説明

SNMP の応答時間が非常に遅いためタイムアウトが発生します。Red Hat は、この問題を認識しており、簡単な対処方法が判明しています。

対処方法

`/etc/syslog.conf` から `*.info` を削除し、`syslog` (syslog サービスを再起動) を再起動します。これは、RHEL4 U5 での SNMP が遅い問題と System Management Homepage のタイムアウトを修正します。

System Management Homepage がすでにインストールされている場合、この対処を行った後にサービスを再起動する必要があります。

対処方法の入手元：

https://bugzilla.redhat.com/bugzilla/show_bug.cgi?id=241581

HP StorageWorks Modular Smart Array 1000 および 1500 (MSA1000 およびMSA1500)

SmartStart で提供される起動可能環境では、MSA1000 または MSA1500 をサポートしません。その結果、SmartStart CD から起動されるユーティリティを利用した MSA1000 または MSA1500 上の既存ボリュームへの処理は行えません。これらのユーティリティは、アレイ診断ユーティリティ (ADU)、アレイ コンフィギュレーションユーティリティ (ACU)、および ROM アップデート ユーティリティです。